

5 故障診断方法と処置

故障・異常の見分け方と処置方法

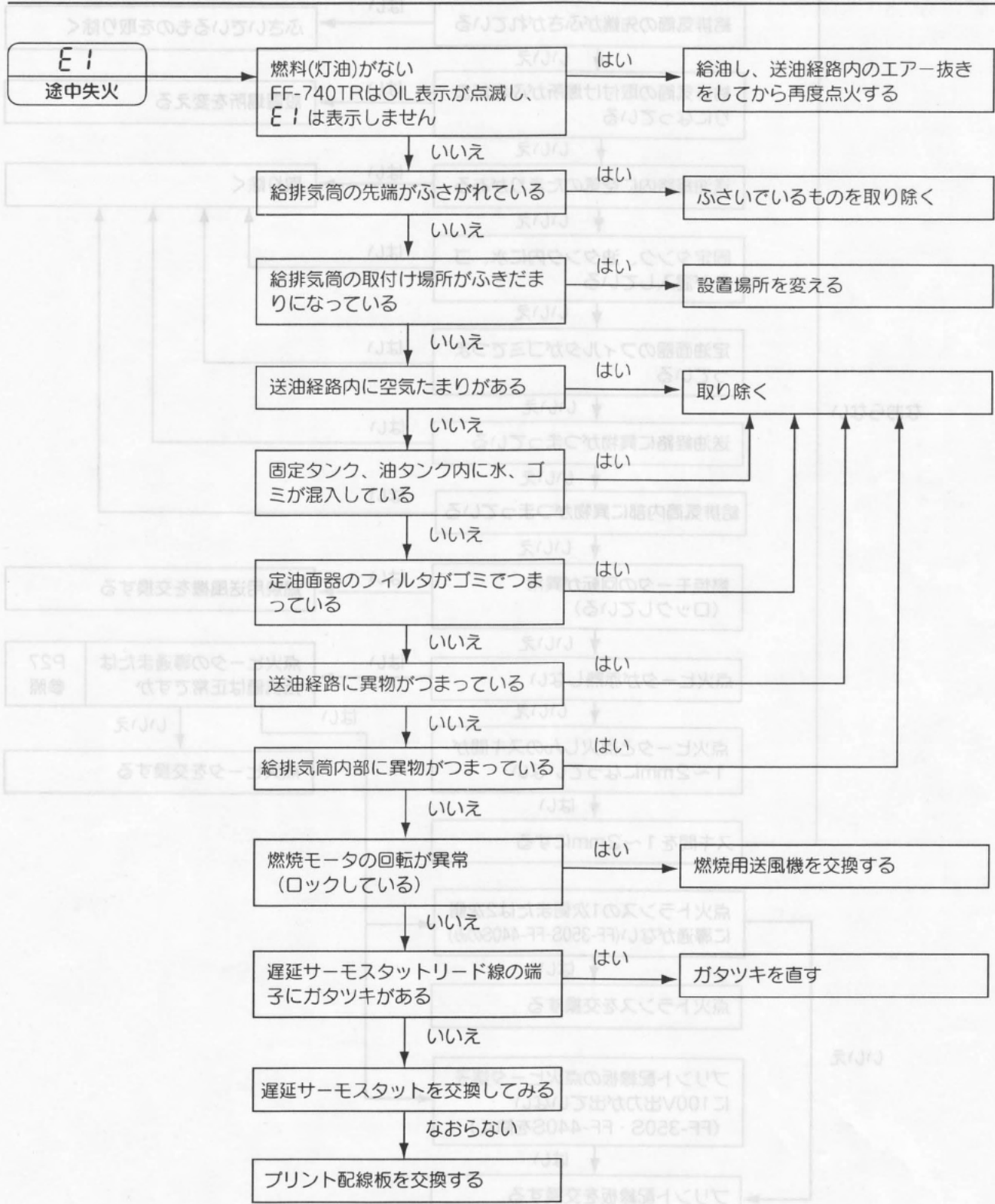
故障または、異常と判断する前に次の項目を点検し、再度点火操作をしてください。
それでも直らない場合は、「故障診断方法と処置」の項目(20ページ参照)にしたがって点検をおこなってください。

■FF-350S・FF-440S・FF-580SBT・FF-740S・FF-740SBT・FF-740TR・FF-1010S・FF-1010SBT・FF-1100SBT

モニター表示	表示内容	点検項目
E1	●途中で失火した	●油タンク・給油タンクに灯油が入っていますか？ ●油タンクの送油バルブは開いていますか？ ●固定タンク・油タンク内に水やゴミがたまっていませんか？
E2	●着火しない	●給排気筒の先端がふさがれていたり、内部に異物がつまったりしていませんか？
E3	●対震自動消火装置が作動した	●ストーブにぶつかったり、強い衝撃を与えませんでしたか？ ●ストーブがグラグラしませんか？（水平に設置されていますか？）
表示部 全消灯	●過熱防止装置が作動した （安全サーモスタット）	●温風吹出口がふさがれていたり、ストーブの前に障害物が置かれていませんか？ ●温風空気取入口・ファンフィルタがカーテンなどでふさがれていませんか？また、温風空気取入口・ファンフィルタに多量のゴミやホコリが付着していませんか？
	●電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
E5	●排気管抜け検知装置が作動した	●排気管または、排気管の接続箇所、はずれているところはありませんか？ ●排気管抜け検知用リード線(灰色)がはずれていたり、断線していませんか？
EE	●停電があった	●停電しませんでしたか？
EC	●室温異常上昇装置が作動した	●部屋の温度が異常に上昇していませんか？ ●ルームサーミスタの抵抗値は正しいですか？（27ページ参照）

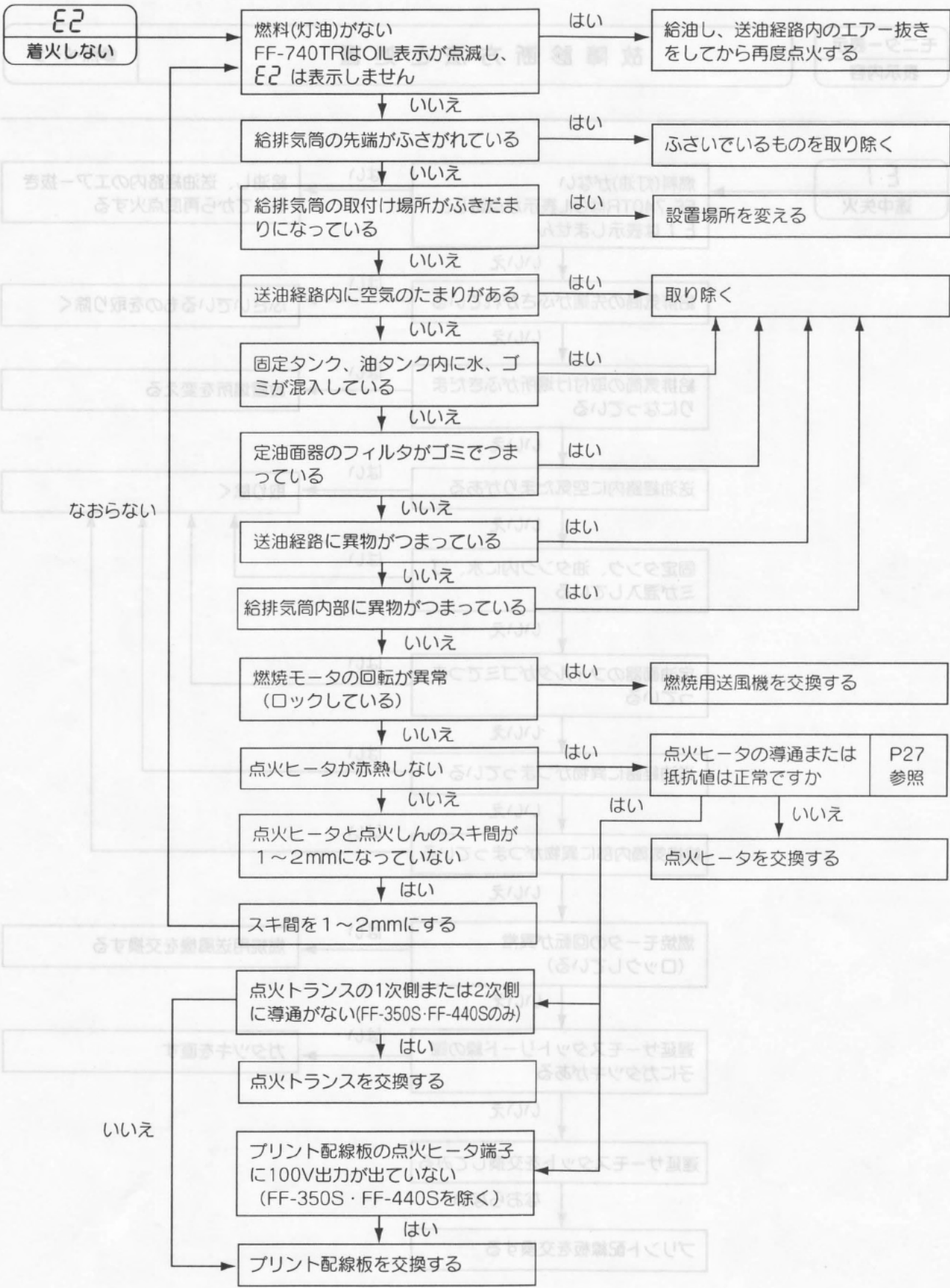
■FF-350S・FF-440S・FF-580SBT・FF-740S・FF-740SBT・FF-740TR・FF-1010S・FF-1010SBT・FF-1100SBT

モニター表示 表示内容	故障診断方法と処置	参照ページ
----------------	-----------	-------



5

※燃料切れ以外の原因の場合は、ポットバーナの中に灯油がたまっていると思われます。必ず点検し、たまっていた場合は取り除いてください。

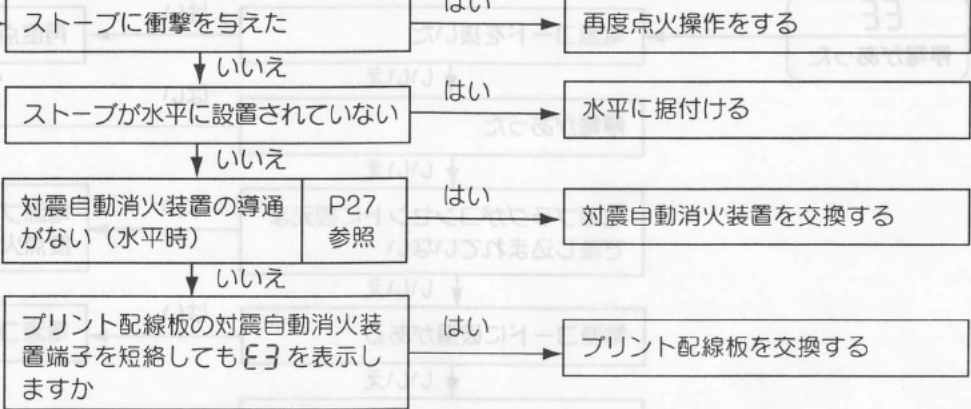


5

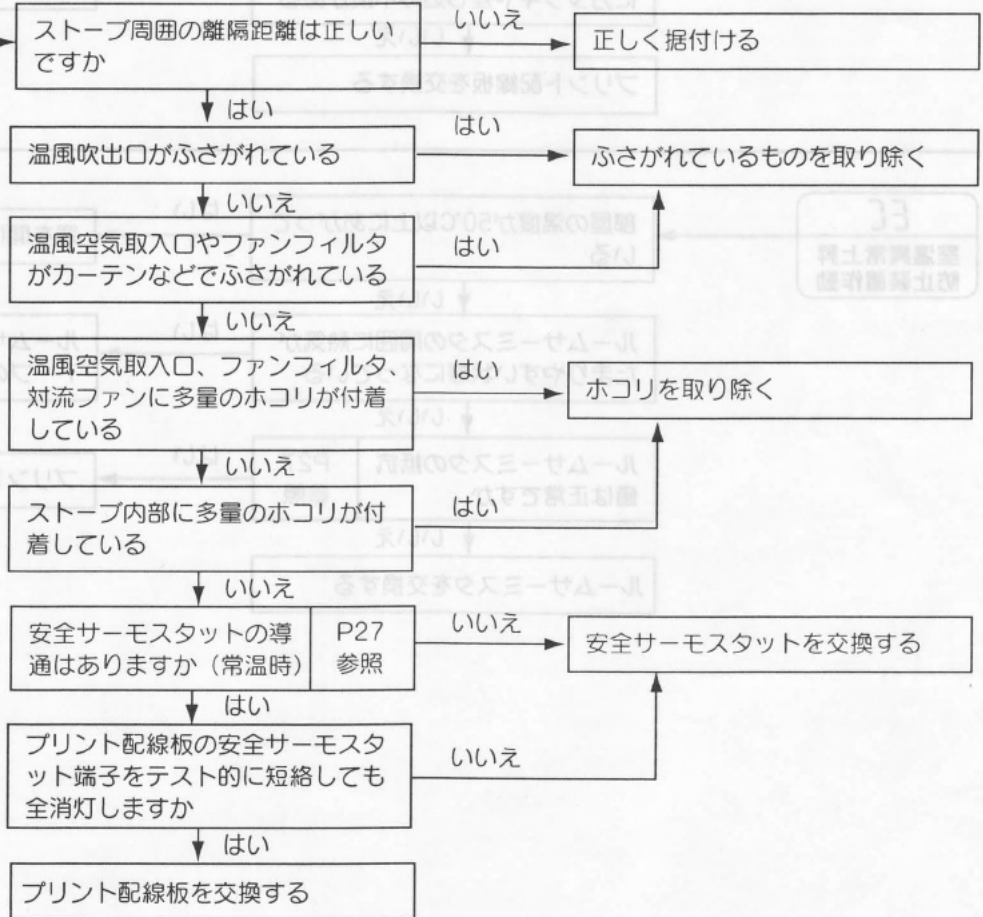
※燃料切れ以外の原因の場合は、ポットバーナの中に灯油がたまっていると思われます。必ず点検し、たまっていた場合は取り除いてください。

E3

対震自動消火装置作動



全消灯
過熱防止装置作動



E5

排気管抜け検知装置作動

